



鳥森小学校



令和7年度
学校だより 7月号

令和7年6月30日発行



鳥森小HP

153-0051

目黒区上目黒3-37-27

TEL 03-3719-1794

FAX 03-3719-2857

校長 丸山 智子

心ゆたかで思いやりがある子 よく考えて進んで行動する子 からだも心もじょうぶな子

人の話をきちんと聴こう

校長 丸山 智子

からすもりの生活指導の3つの重点目標の一つに「人の話をきちんと聞こう」があります。今から5年以上前、からすもりの子どもたちの実態から重点目標になったものです。全校朝会や集会等、全校児童や大勢が集まる場で話を聞く姿は、高学年を中心に、からすもりの子のよさになってきていると感じています。

高学年の自然宿泊体験教室では、人の話を聞く場面がたくさんあります。見学・体験先だけでなく、移動中のバスの車中でもバスガイドさんが、道中の様々な情報を提供して下さいます。

6年生は、興津自然宿泊体験教室で、目黒区立小学校で初めて海の安全教室とSUP体験を行いました。ライフジャケットを着用して海に入りますが、危険との隣り合わせということ意識していなければなりません。しかも集団で行うため、インストラクターの説明や指示を皆がしっかりと聞いて行動しないと全体の安全にも影響します。インストラクターの方からは、「子どもたちが、静かにしっかりと話を聞いているので私たちも安心して体験活動を進められます。」と褒めていただきました。きっと子どもたちの姿に、話し手を見て聞く、うなづく等の静かなリアクションがあり、それが話し手に伝わっていたのだと思います。子どもたちは、単に体験に必要な情報を聞いて得ることから、体験の内容を理解しようと意識して聴く態度になっていたのだと思います。

鳥森小学校が目指しているのは、「相手に心を寄せ、最後まできちんと人の話を聴く」子どもたちの姿です。心を傾けて人の話を聴くからこそ、からすもりの子どもたちと、お話をされる方の間に、一対大勢であるけれども、そこに「相手への気持ち」が生まれるのだと思います。相手が話し終わるまで人の話を聴くことは、相手に対する礼儀であり、相手を大切に、人を大切にすることになります。これは、本校が今年度力を入れている人権教育にもつながります。

からすもりの子どもたち全体が、気持ちのよいやり取り、関わりをもつことができるよう、受動的な「聞く」行為から一歩進んで、相手の話を理解したり、共感したりして心を動かし、能動的に「聴く」態度へ、目標のハードルを少し上げて、子どもたちを導いていけるよう、学校全体で指導や支援を継続していきたいと思えます。

今年度から夏季休業が8月31日まで延長となりました。子どもたちが、家庭、地域で安全に楽しく充実した時間を過ごせるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

